

平成 30 年 12 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 2 月の業種別景況の前月比 D I 値は 1 4 業種の内、好転が 3 業種、昨年同等が 8 業種、悪化が 3 業種となり、全体の景況感 D I 値は 1 1 月と同様となっている。

運輸業では、運賃が改善し、取引先の仕事量の増加により輸送受注が増加しているとの報告がある一方で、食料品では、原材料の値上げや配送費の増加を懸念しているとの報告があった。

山口県の中小企業は、多くの業種で人手不足が深刻な問題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 12 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：25.0% DI 値：▲17.5% ポイント

売上高

（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：18.8% 減少：36.3% DI 値：▲17.5% ポイント

収益状況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：15.0% 悪化：30.0% DI 値：▲15.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 30 年 12 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	22.2	0.0	▲15.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲33.3	▲50.0	▲18.2	▲20.0	28.6	▲100.0	▲19.2	▲17.5
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	クリスマス商戦は、組合員以外の洋菓子専門店是好調であるが、和洋菓子店が大半を占める組合員は低調。雇用人員確保も同様で、組合員はすべてにおいて縮小傾向である。紙単価の上昇により、箱の単価も上昇傾向。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	営業日数が少なく、売上が減少した。	パン・菓子製造業 下関市
	24日時点の売上は、対前年同月比でほぼイーブンペースとなった。競合店の開業など、4月より前年割れの売上が続いていたが、8月頃から徐々にマイナス幅が縮小し、12月でようやく前年ベースに復帰した。12/27～31で「萩・年末お魚市」を開催予定。寒波襲来予想など不安要素もあるが、一年で最大の集客・売上のある期間なので、各店舗の頑張りに期待したい。	水産食料品製造業 萩市
	塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料の値上げがじわじわと影響している。豪雨災害の影響で想定外の配送料の増加が起こり、配送費の増加が心配である。災害の影響なのか消費が伸びていない。食品は消費税率の軽減対象だが、全体の冷え込みが心配。	水産食料品製造業 下関市
	大雨や高温干ばつなど、極端な気象が続く天候リスクが、例年に比べ高かった。地球温暖化による気候変動により、予測できないような事態が起こっている。また、周防大島では断水による企業活動に影響が出るなど、予測不可能な危機に遭遇した際の対応について、本格的な検討が必要となる。また、今後は二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	店頭売行きが悪く、様子見の発注が続いている様である。発注数は減っており、例年年末から2月納期までの仕事量に苦慮するところではあるが、来年は特に少なく、受注の確保に苦労しそうである。	外衣・シャツ製造業 萩市
	働き方改革について法令確認をしなければならない。特に、2019年4月スタートの年5日の年次有給休暇取得の義務付け。又、そのことについての時季指定義務等々。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	新築は少なくなり、リフォーム中心で推移している。	製材業・木製品製造業
印刷	折込チラシの繁忙期であったが、ピークの期間が年々短くなって、受注量は減少している。	印刷 下関市

	年末にもかかわらず、どこの印刷工場も機械が動いていなかった模様。	印刷 山口市
窯業・土石製品	12月の出荷量は (平成29年12月) 骨材148%、路盤材92%、再生材92% ↓ (平成30年12月) 骨材85%、路盤材145%、再生材101%	碎石製造業
	出荷量は、前月比94%、前年同月比75%、累計前年同月比89%。平成30年度は前年度比約85%と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	年末だが、来年の仕事の依頼が少なくなっている。来年は消費税増税となるが、駆け込み受注も少ない。増税前には若干増えるであろうが、その後の落ち込みが安易に予測できる。もはや組合レベルの問題ではない。	石工品製造業
	萩市内の萩焼小売店の売上は、昨年同月と比較しやや減少。ギフト・卸関係・百貨店の受注は昨年並み、浅草アンテナショップ「萩の風」の売上は10%アップとなっている。年内で萩市内木箱製造会社が1社廃業（昨年も1社廃業）し、全国展開している大手の独占に近い状態となっている。その業者については、人員不足ということで、11月からファルカタ素材の箱は、ロット30個以上という受注制約が始まり（桐箱は従来通り）、5個や10個といった小口の注文は受けなくなっており、少量の調達が難しくなっている。いくつかの窯元から相談を受けており、対策が急がれる。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	例年、仕事量が減少する月だが、今年は組合員の仕事量は多い模様。先月に続き、県外からの仕事量が多いようだが、コストがかかる分、収益状況は不変。	一般機械器具製造業 下松市
	景気は安定して推移しており、全般的な変化はない。自動車関連は順調。設備関係は、県内の大型構造物が4月頃までは受注が済んでいる。国外は、中国とロシアの互いの動きによって受注が左右される傾向がある。東南アジアの関係は順調。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等外国人技能実習生を入れている全ての職種で業績は好調。残業も多い。法律の遵守を指導。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調。即戦力として活躍している。受入人数拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。しかしながら、来年4月の特定技能1号の創設に伴い、企業に	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>とってどちらの制度が使いやすいかにより、技能実習生の受入にどのような影響があるか不明確であり、予断を許さない状況である。企業にとっては選択肢が増えるため、外国人の受入は増えるであろう。引き続き、技能者の受入相談が増えてきているが、企業の希望する人材の確保が難しい。</p>	
	<p>前月より好転の傾向。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
<p>輸送機器</p>	<p>車両は繁忙な状況が継続、産業プラント、半導体は様子見状態。全体としては横這いの状況。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
<p>卸売業</p>	<p>気温が下がり、今後の生産に期待したい。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>昨年より価格が上昇しているが、収益は上がらない。繁忙期であるが、人員不足で困っている。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>例年より若干気温が高く、冬商品の動きが鈍い。</p>	<p>各種商品卸売業 山口市</p>
	<p>商品売上高に関しては、横ばい状況であるものの、荷役作業による収益の増加、業務内容の合理化による経費削減により、前年に比べ状況は好転している。</p>	<p>各種商品卸売業 下関市</p>
<p>小売業</p>	<p>暖冬のせいか売上は微増。全体的に山口県では東部の方が売上が良い模様。最近メーカーが売れる店、売れない店と差別的にしている様子が見られる。例えば美容部員の来店回数やサンプルの量など。春の新色（新商品）の予約活動を開始した店もある。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>中通り商店街では10年、100回めの開催となる軽トラ市「軽トラ新鮮組！」が開催され、新聞やテレビメディアの注目を受けた。これに各店の歳末商戦や飲食店での忘年会がピークを迎え、店舗前通行量、交流人口、売上などすべてが増加・向上の傾向。好景気感は一気に加速し、あらゆる小売業種は好成績となった。飲食店ではアルバイト従業員の不足が叫ばれるなど時期的な課題も見られたが、これらを含めても概ね良好。街は活気に溢れた。</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>
	<p>冬の山口デーが始まり、ボーナス月でもあるため、買い物客の増加を感じる。クリスマスも3日連休となり、先月よりは売上増加。しかし、天候の影響なのか、全体的には厳しい。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>下旬に「長府商店街大歳の市」でガラポン抽選会を行い、集客に繋がった模様。しかし、上旬から中旬にかけては、売上は減少している。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
	<p>売上については、昨年が悪かった事もあり前年同様だが、客数については前年を下回った状況。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
<p>商店街</p>	<p>暖冬の影響か、セールを開催するも売上微増。来街者は曜日により大きく波があり、平日の客数確保に問題がある。業績も店舗格差あり。</p>	<p>山口市</p>

	サービス系は堅調のようだが、物販系は厳しい状況が長期に渡り続いている。	宇部市
	年の瀬だが商店街の人の通りは少なく、活気がない。各店年末の対策を立てているが、状態は厳しい様子。飲食・青果の店は多少出入りがあるが、今後の営業活動の立て直しが必要との話が出ている。	萩市
サービス業	美容室数の増加に伴い、顧客数は減少傾向にあるが、12月は繁忙期にあたり、各店例年通りの忙しさだった。	美容業
	気候の変化等により客足が遠のく一方で、顧客の集中している日とそうでない日ははっきりしている。客数、売上、客単価が低下し、大きく業況が悪化している。	理容業
	来年の消費税増税に向けて、政府ではクレジットカードなどのキャッシュレス決済を条件に、2パーセント、5パーセントのポイント還元を検討している。そのような中、整備業界はこれまで車検費用の請求など、重量税や検査手数料といった税金等を一括して請求し支払を受けており、クレジットカード決済になじまない面が高く、カード決済を導入している整備工場の率は専門工場では非常に低い状況にある。しかし、10月以降は、カード決済ができなければユーザーから敬遠され逃げられる恐れがあり、商工組合としても早急なカード決済導入を促しているが、経営者の高齢化が原因なのか、反応は鈍い。	自動車整備業
	人口減少を感じる。	スポーツ・健康教授業
	年末を迎え、数年前は年内仕上げの駆け込み需要が多かったが、今年は本当に厳しい状況になっている。学校が終業式を迎え制服が多数出ていたが、少子化の影響もあるのか、学生服が年々減少していて、想定したほどの品物が出てきてない状況。業界全体でも2018年は本当に厳しい年となると業界紙で発表があった。	普通洗濯業
	年末に JR 西日本より JR 券取扱駅（岩国駅・柳井駅）2駅が取扱停止と通達があり、売上の減少が予想される。（実施日は未定）	旅行業
	宿泊客は対前年同月比で96.6%、売上は対前年同月比で94.7%と、前年割れ。	旅館業 山口市
	昨年並みの売上高が確保できる見込。宿泊者の確保困難な状況が続く、廃業等の施設が増加。	旅館業 長門市
	従業員の数減による売上減だが、全体的な景気はあまり変わっていない模様。年末の飲食の傾向、趣向に時代的な変化あり。来年以降賃金UPや増税の影響が心配される。	飲食業

建設業	中電への工事申請 1 1 1 件（当支部分 9 3 件）、前年同月 3 8 9 件（同 3 4 3 件）。太陽光発電への申請 1 2 件（前年 9 7 件）、オール電化申請 5 8 件（前年 1 6 7 件）。LED 街路灯への切り替え・新規申請 1 4 件（前年 1 8 件）であった。前月の売電価格引き下げ前の駆け込み受注の反動で、太陽光発電の申請は激減した。一方、前年は 1 2 月に駆け込み受注があったため、対前年比も大幅減となった。	電気工事業
	金融機関より同業界の事業所の M&A の話が持ちかけられた。近隣の他県では M&A 専門業者より自社売却をしないかと問い合わせを受けた同業者が数年前より見受けられる。	左官業
	例年あまり仕事のない月だが、今年は小規模の仕事が入り、忙しい状況。人手は足りている。	管工事業
	例年年明け早々は工事物件がないので、年末に翌年分を確保している。年間を通じて、一番屋外での仕事がやりにくくなる季節で、作業効率が低下し、転落事故等も発生するので、とにかく事故なく乗り切ることが最優先で進めている。今春は、仕入れ価格の上昇のため、施工価格の値上げを実施せねばならない。	屋根工事業
	年末は先行工事が進まず、予定していたほどの出来高が上がらなかった。正月休みは例年より長く、すべての現場が 7 日からの始まりであった。1 月は 2 0 日頃まで人手不足となるため、年末年始休みの時間を惜しく思う。1 つの現場の工期が短すぎることで、建設業の働き方改革が進まない所以と思われる。	内装工事業
	柳井地区では、災害復旧工事の受注があり例年より工事量の増加が見られるが、一般工事の発注が伸び悩んでおり、景気が良くなっている感じがしない。発注の平準化、工期の平準化等の施策により、通年で工事がある様にならないと人材の確保が困難と思われる。	土木工事業 柳井市
	昨年も今年も 1 2 月は公共工事受注 0 円。各社、民間工事で凌いでいる。	土木工事業 周南市
受注高は、対前年同月比 5 0 7 . 3 %。今年度の累計は、対前年比 1 7 9 . 5 %	土木工事業 萩市	
運輸業	輸送関係は、長距離輸送車両不足が目立ち、中・近距離車両も一層不足し、輸出関連の輸送を優先しながらの月であった。対前年同月比で 0 . 6 % のマイナス。貨物車両ドライバーの減少は今月は特にひどい状況であった。油関係は 6 . 4 円の値下げ。中小輸送会社には久々の朗報ではあるが、世界状況を考えると一喜一憂の月となった。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注は、運賃の改善や取引先の仕事量の増加に	一般貨物自動車運送業

	より前年比約11%程度増加、順調に推移している。燃料費については、2ヶ月続けての下げとなったが、前年比では依然として高い。	防府市
	売上、収益の前年超が続いている。高齢嘱託社員の体調による退職が発生している。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	久々に前年同月と同等の売上高であった。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、前年比+2.2%（平成30年11月1日～平成30年12月20日分）。11月1日～30日分は+4.6%、12月1日～20日分は▲2.1%。12月になって少し不調だが、前年度も好調（+1.9%）だったので、比較的堅調に推移している模様。11月分について当組合の取扱地区別に見ると、周南+5.8%、下松+13.0%、光+8.5%、防府▲0.6%で、組合員の全域では+5.7%、地区外（員外）▲9.3%で、合計+4.6%（+1,142千円）。得意先別の増減は、締切り期間による増減と思えるものも多く、長期間で平滑化すると、業種や地域による傾向はあまり無い模様。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが下がり（前月590.0\$/トンが今月470.0\$/トン、前年575.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下がった（前月507.0\$/トンが今月462.0\$/トン、前年377.0\$/トン）。為替は円安（前月113.82円/\$が114.36円/\$）。燃料単価は前月より▲10.3%と下がり、前年12月分に比べると▲7.6%と下降した。タクシー乗務員は慢性的に不足し、高齢化もあって実働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況が続いている。12月に入って、前年比がマイナスとなりつつ有り、まだまだ予断を許さぬ状況。	一般旅客自動車運送業 周南市
	今月も対前年同月比で若干増加となった。雇用人員については、人手不足での「不変」。	港湾運送業
その他非製造業	外国人技能実習機構より実習計画の認定があり、外国人技能実習生の受入れを円滑に運営していきたい。	介護事業